TESCOM

一般家庭用

# フードミル

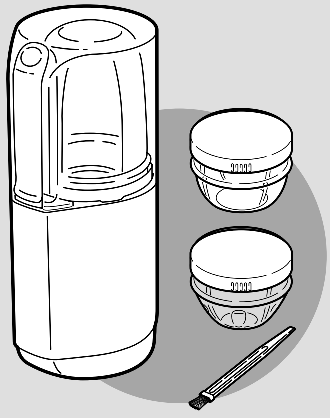
## 形名：TML180

# 取扱説明書

**保証書付き**

保証書は、裏表紙に付いております。
販売店にて必ず記入を受け、大切に
保管してください。

お買い上げありがとうございました。
ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくご使用ください。



もくじ

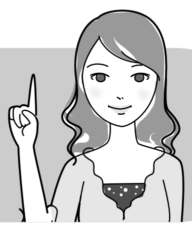
安全上のご注意 …………………… 1
各部のなまえとはたらき ……… 4

使いかた ………………………… 5
粉末・ジュース・
　ペーストづくりのしかた …… 7

お手入れのしかた ……………… 8

故障かな?と思ったら ………… 9

仕様 ……………………………… 9
アフターサービスについて ……10
保証書 ……………………… 裏表紙



# 安全上のご注意

●ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産の損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。
●注意事項は次のように区分しています。

**⚠警告**

誤った扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**⚠注意**

誤った扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

**絵表示の例**

記号は、「してはいけないこと」の内容をお知らせするものです。

（左図の場合は分解禁止）

記号は、「しなければならないこと（強制）」の内容をお知らせするものです。

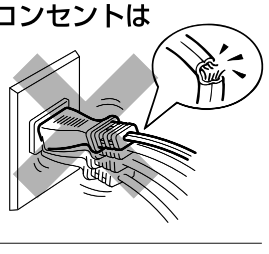
（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）

## ⚠警告

禁止

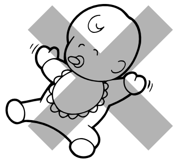
**電源コードや電源プラグが傷んだ時は使わない。**
**差し込みのゆるいコンセントは使わない。**

発火や感電の恐れがあります。



**子供だけで使わせない。**
**幼児の手の届く所で使わない。**

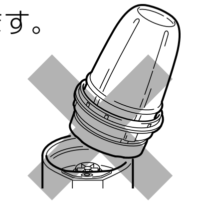
子供や幼児がけがをする恐れがあります。



禁止

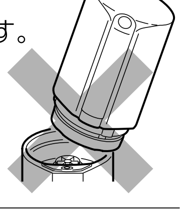
**カッターの回転が完全に止まるまで、カップをはずさない。**

けがをする恐れがあります。



**動作中にカップを開けない。**
**動作中にカップの取り付け、取り外しはしない。**

けがをする恐れがあります。





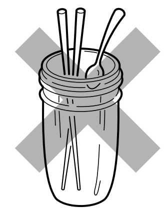


## ⚠警告

禁止

**カップの中にスプーン・箸など調理材料以外のものは入れない。**

けがをする恐れがあります。



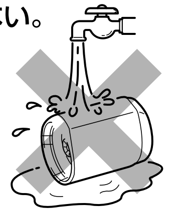
**カッターには直接手を触れない。**

けがの恐れがあります。

水場禁止

**水につけない。水をかけない。**
**湿気の多い所で使わない。**
**ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。**

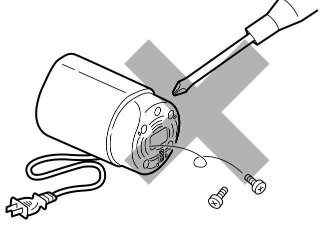
故障・感電の恐れがあります。



分解禁止

**修理技術者以外は、絶対に分解・修理・改造をしない。**

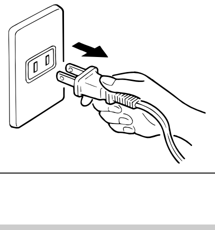
発火や感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く

**使用時以外は、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。**

火災・感電の恐れがあります。

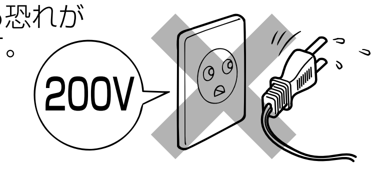


## ⚠注意

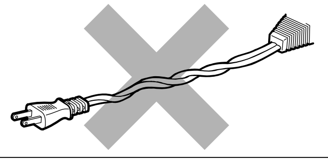
禁止

**交流100V以外で使わない。（日本国内専用）**

発火する恐れがあります。



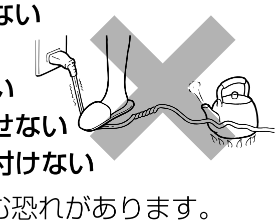

**ねじれが戻らなくなった電源コードは危険なため、使わない。**



禁止

**電源コードは下記のように扱わない。**

- **無理に曲げない**
- **ねじらない**
- **引っ張らない**
- **重い物を乗せない**
- **熱い物に近付けない**



電源コードが傷む恐れがあります。

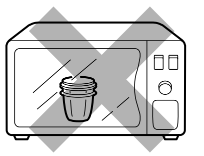
**本製品は家庭用なので、業務用として使わない。**

## ⚠注意

禁止

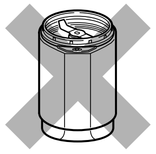
**カップをレンジなどに使わない。**
**食器乾燥器・食器洗い乾燥機を使わない。**

カップが割れて
けがをする恐れが
あります。



**カップホルダーのみを**
**本体に取り付けない。**

けがをする恐れが
あります。



**材量が多すぎたり、**
**その他の原因で回転が**
**止まった時は、そのままの**
**状態で使わない。**

故障の恐れがあります。

**空回ししない。極端に**
**少ない材料で使わない。**

故障・破損する恐れが
あります。

**40℃以上の熱い材料は**
**ミルカップ（大・小）に**
**入れない。**

ミルカップ（大・小）が
割れてけがをする
恐れがあります。

禁止

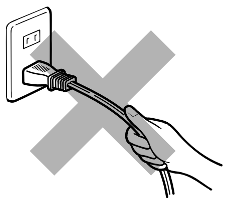
**不安定な所に置いて使わない。**

けがをする恐れが
あります。

必ず守る

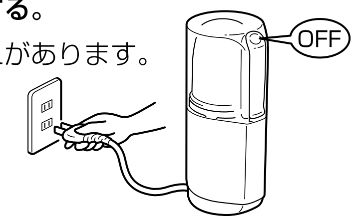
**コンセントから電源プラグを抜く時は、**
**電源プラグを**
**持って抜く。**

電源プラグを
傷める恐れが
あります。



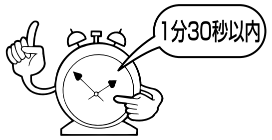
**動作していないことを確かめてから、**
**電源プラグをコンセントから**
**抜き差しする。**

けがの恐れがあります。




**1回の動作は連続1分30秒以上おこなわない。**
**（次の動作まで30分以上休ませる。）**

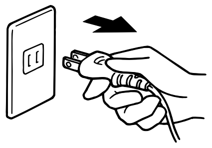
故障・破損の
恐れがあります。



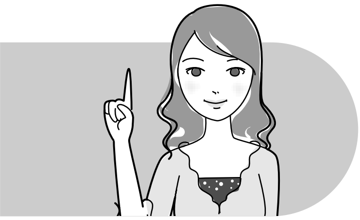

電源プラグを抜く

**カップをつけたカップホルダーの**
**取り付け・取り外しをする時は、**
**電源プラグをコンセントから**
**抜いておく。**

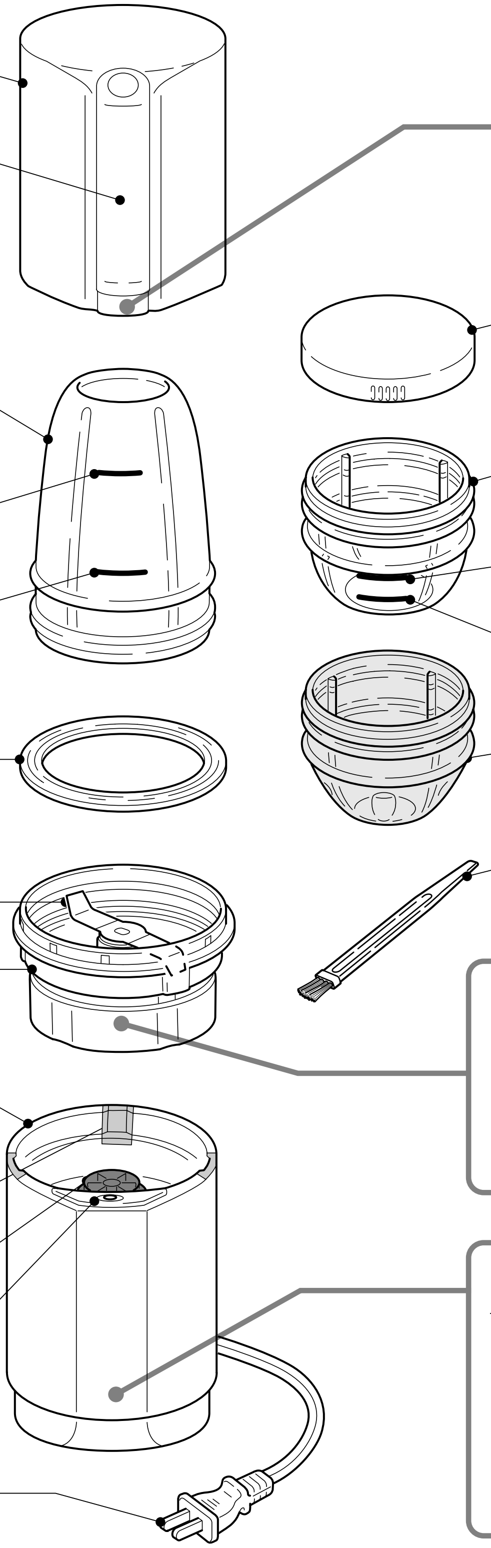
けがの恐れが
あります。







# 各部のなまえとはたらき



**カップカバー**

**スイッチ**
本体にセットされている状態で
スイッチを押すと動作します。
※連続使用時間は1分30秒です。
　1分30秒使用した後は、次の
　使用まで30分以上休ませてく
　ださい。

**ミルカップ（大）**
ガラス製です。

**1/3量線**
固形の材料はここまでです。

**液体最大量線**
液体最大量線以上に材料を
入れないでください。

**パッキン**
製品にあらかじめ取り付けられ
ています。
お手入れ後必ず付けてください。

**カッター**

**カップホルダー**

**本体**

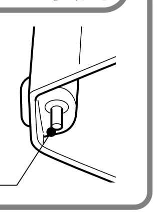
**ホルダー受け**

**プラカプラー**

**本体スイッチ部**

**電源コード・電源プラグ**

**カップカバー裏面**



**スイッチ突起**

**容器フタ**
調理したものを容器に入れたまま
保存する時に使います。
密閉できませんので、液体を入れた
時はご注意ください。

**ミルカップ（小）**
ガラス製です。
少量のものを粉砕する時に使います。

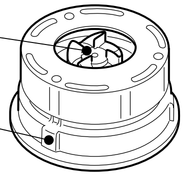
**液体最大量線**
液体最大量線以上に材料を
入れないでください。

**1/3量線**
固形の材料はここまでです。

**お茶カップ**
プラスチック製です。緑茶・ウーロン茶・
紅茶などを粉砕する時に使います。

**掃除用ブラシ**
カップに付いた食材を取り出す時や、
お手入れの際に使います。

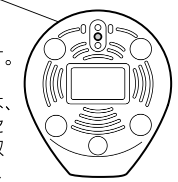
**カップホルダー裏面**



**ゴムカプラー**

**ホルダー凸部**

**本体底面**



**リセットスイッチ**
材料の入れすぎなどで、
安全装置が働いて動作
しなくなった時に押します。

※安全装置が働いた場合は、
　必ず電源プラグをコンセ
　ントから抜き、原因を取
　りのぞいてから押してく
　ださい。

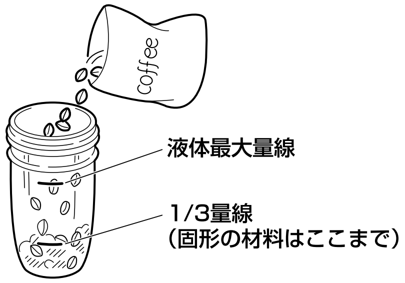
# 使いかた

分量や材料は、7ページやレシピブックを参考にしてお使いください。
下記はミルカップ（大）の場合ですが、ミルカップ（小）・お茶カップの場合も同じ使いかたです。

## 基本的な使いかた

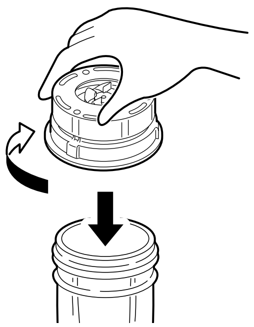
### 1 カップに調理する材料を入れる。

- 調理する内容によってカップを選びます。
- 材料の分量は7ページを参考にしてください。
- 目盛り線はあくまでも目安です。材料によって分量を調節してください。



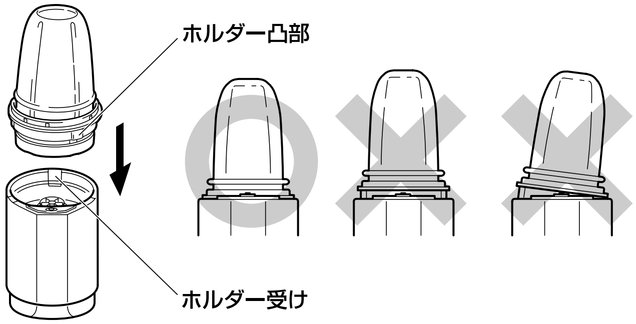

### 2 カップホルダーを刃の付いた方を下にして、容器に最後までしっかりとねじ込む。

- パッキンがカップホルダーにしっかりと付いていることを確認してください。
- ねじ込みがゆるいと振動で材料がもれる場合があります。
- カップホルダーを容器に完全にねじ込むまでは、容器を傾けたり、ひっくり返したりしないでください。材料が容器とカップホルダーの間にはさまって材料がもれる原因となります。



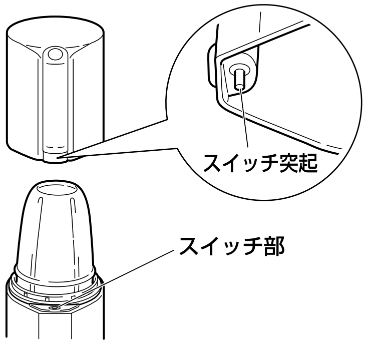
### 3 容器の付いたカップホルダーのホルダー凸部を、本体のホルダー受けに合うように差し込む。

- 確実にセットされていないとスイッチが入りません。
- カップホルダーが本体から浮いていたり、傾いていたりするとスイッチが入りません。




### 4 カップカバーのスイッチ突起を本体スイッチ部に合わせて、カップカバーをセットする。

- カップカバーのスイッチ突起が破損すると動作できなくなりますので、取り扱いには充分に注意してください。

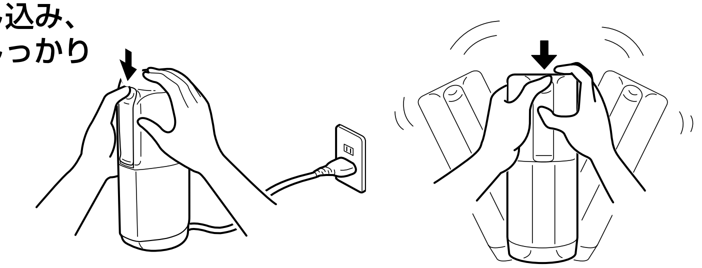






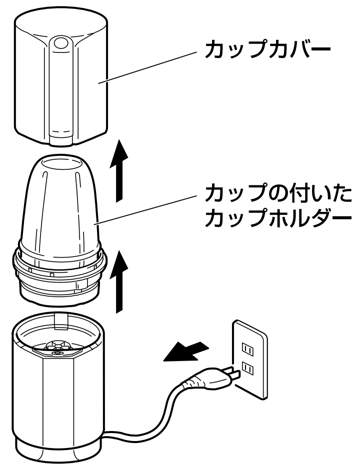

### 5 電源プラグをコンセントに差し込み、カップカバーを上から両手でしっかり押さえてスイッチを押す。

- 本体をゆすって調理する場合は、右図のように本体を置いたままの状態でカップカバーを押さえてゆすります。



### 6 調理が終りましたらコンセントから電源プラグを抜き、カップカバー、カップの付いたカップホルダーの順にはずす。最後にカップとカップホルダーをはずす時は上下逆にしてから外す。

- 調理したものをカップに入れたまま保存する場合は容器フタを使います。
- 容器フタは密閉できませんので、液体を入れた時はご注意ください。




### ご注意

- このミルで下記の材料は調理しない。
  **氷だけの切削** ／ 繊維質の強いもの（たくあんなど）／非常に固いもの（猿の腰掛け、根昆布、かつおぶし、炒っていない豆類、氷砂糖、黒砂糖）／ 水分や油分の出るもの（玉ねぎ、ピーナツなど）／ 乾燥させた果物（レーズンなど）
- 液体最大量線以上に材料を入れない。
- フードプロセッサーではないので、ハンバーグやギョーザのタネ作りに使わない。
- 1分30秒以上の連続動作はしない。（1分30秒使用した後は、必ず30分以上休止させてからお使いください。）

### 続けてお使いになるには…

連続してお使いになる場合は、動作時間の合計を1分30秒以内になるようにしてください。
連続動作時間の合計が1分30秒に達したら30分以上休止させてからお使いください。

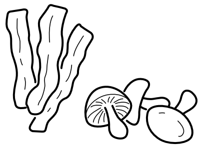
例：煮干しパウダー（約30秒）を連続して作る場合
○ 1回目：30秒（連続合計30秒）
○ 2回目：30秒（連続合計1分）
○ 3回目：30秒（連続合計1分30秒）
× 4回目：30秒（連続合計が2分になってしまうので、30分以上休止をさせてからお使いください。）

# 粉末・ジュース・ペーストづくりのしかた

## 粉末づくり

### 材料の準備

粉末に加工する場合、材料は乾燥した状態のものを使います。乾燥が充分であればあるほど粉末はさらさらのパウダー状になります。材料に水分が含まれていると、粉末にならなかったり、故障の原因となりますので使わないください。



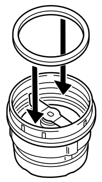
**〈注意する食材〉**

- 干し椎茸などの乾燥キノコの場合は、スライスしてから乾燥させてあるものを使います。
- スライスしないで丸ごと乾燥されているものや軸の部分は、粉末に加工できません。
- 昆布類は、2cm角に切ってから電子レンジなどで煎ります。粗熱をとった後、指でパキパキ折れるようになったら粉砕してください。

### 容器とカッターの乾燥・パッキンの装着の確認

容器に材料を入れる際、容器やカッターに水滴が残っていたりぬれていたりすると、粉末がきれいにできあがりません。

また、パッキンがカップホルダーの所定の位置にきちんとはまっているかどうか確認してください。パッキンがきちんとはまっていないと、カッターの回転でパッキンが破損してしまう場合があります。



※パッキンの取り付けかたについては、8ページを参照してください。

### 材料を入れる目安

粉末を作る場合の目安は、加工前の材料の分量が、多くてもミルカップの1/3量線以下となるようにしてください。

1/3量線より多くなると、粉末が細かくならなかったり、安全装置が働く場合があります。

※安全装置については9ページを参照してください。

## ジュースづくり

### 材料の準備

野菜や果物を水分と一緒にミルにかけると、ジュースが作れます。水分には牛乳・ドリンクヨーグルト・水などの液体をお好みでお使いください。（水分を加えないで野菜や果物だけをミルにかけてもジュースはできません。）

材料となる野菜・果物の内、葉野菜類は葉の部分を適当にちぎってミルカップ（大）に入れます。果物やゆでたニンジンなど、かたまり状の材料の場合は、スライス状に切ってからミルカップ（大）に入れ、水分を加えて動作します。冷蔵庫の角氷を一緒に入れると、かくはんが促進されて早くできあがります。

### 材料を入れる目安

ミルカップ（大）に入れた材料の量に対して、ひたひたよりやや少な目の水分量が目安となります。水分量が少なすぎると、材料がうまくかくはんせず、ジュースにならない場合があります。

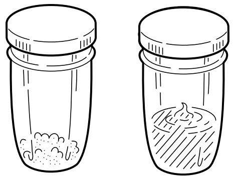
ミルカップ（大）に表示されている液体最大量線より多く材料を入れないでください。モーターに過剰な負担がかかり、安全装置が働く場合があります。

## ペーストづくり

### 材料の準備

加熱調理済みの材料にだし汁などの水分を加えてミルにかけると、ペーストが作れます。ペーストにする材料は必ず加熱調理して、そのまま食べられるようにやわらかくなっているものをお使いください。

材料は野菜・魚・肉など種類を問わずにペーストにすることができますが、野菜の特に堅い皮や芯の部分・魚の骨（小骨を除く）・イカやタコの皮・肉のすじなどはペーストにすることができません。水分には煮汁・だし汁（材料の種類によって洋風・和風・中華風など）・牛乳などをお使いください。



### 材料を入れる目安

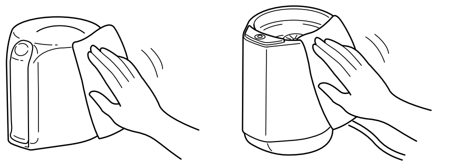
水分量の目安は、材料の2/3程度の量になります。ペーストにする材料は、加工前の状態で、ミルカップ（大）の1/3量線より多くならないようにしてください。分量が多すぎると、ペーストがきれいに作れなかったり、安全装置が働く場合があります。

# お手入れのしかた

**電源プラグをコンセントから抜いてお手入れをしてください。**

## 本体・カップカバー

やわらかい布を「石ケン水」や「水で薄めた中性洗剤」に浸し、よくしぼってからよごれなどを拭き取ります。

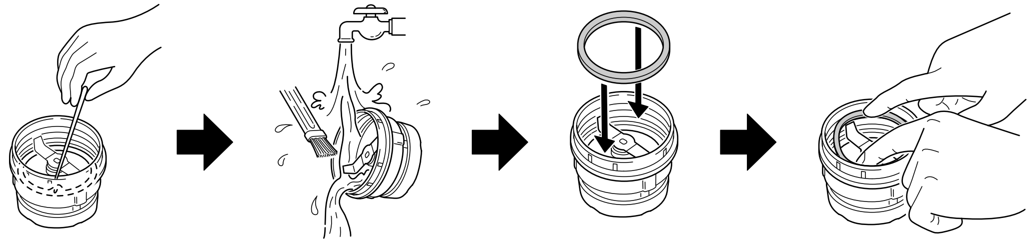


## ミルカップ・お茶カップ・容器フタ

スポンジに中性洗剤をつけて洗い、水気をよく拭き取ってください。

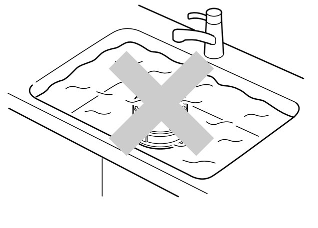
※あらかじめ容器に水と中性洗剤を入れてミルを15～20秒位動作させると、よごれが落ちやすくなります。

## カップホルダー・パッキン



- パッキンは、カップホルダーに最初から組み込まれています。お手入れの際は、つまようじなど先の細いものでパッキンをはずし、ぬるま湯を流しながら付属の掃除用ブラシで洗います。
- カップホルダーはぬるま湯を流しながら、付属の掃除用ブラシを使って洗います。

  ※あらかじめ容器に水と中性洗剤を入れてミルを15～20秒位動作させると、よごれが落ちやすくなります。
- カッターはサビの恐れもありますので、よく水切りをして、きちんと乾燥させてください。
- ご使用の際は、パッキンをしっかりと取り付けてください。パッキンが正しく装着されないと、容器内で巻き込まれて、パッキンが切れたり、ジュースが漏れる場合があります。



カップホルダーの裏面（ゴムカプラーの付いている面）は防水ではありません。直接水をかけたり、つけ置き洗いをしないでください。

### ご注意

- 火で乾燥しない。
- 本体は水につけたり、水をかけない。
- 食器洗い乾燥機や食器乾燥器は使わない。
- お手入れの後、必ずパッキンをつける。
- ベンジン・シンナー・金属たわし・磨き粉・漂白剤・化学ぞうきんをよごれ落としとして使わない。
- 熱湯で煮沸消毒しない。

# 故障かな？と思ったら

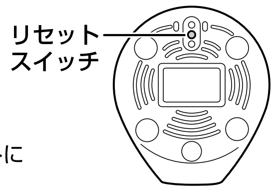
下記のことをお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社「お客様ご相談窓口」にご相談ください。
（10ページ参照）

| こんなときは | 考えられる原因 | こう処置してください |
|---|---|---|
| 振動が大きい。 | ●材料の切り方が大きすぎる。<br>●材料の量が多すぎる。 | ●材料を小さく切り直す。<br>●材料の量を減らす。 |
| 刃が回らない。 | ●材料の量が多すぎる。<br>●容器・カップホルダーが本体に確実にセットされていない。<br>●カップカバーが本体に確実にセットされていない。 | ●材料の量を減らす。<br>●確実に容器・カップホルダーをセットする。<br>●確実にカップカバーをセットする。 |
| 途中で止まる。 | ●材料の量が多すぎる。<br>●電源プラグが抜けている。<br>●安全装置が働いている。 | ●材料の量を減らす。<br>●電源プラグを正しく接続する。<br>●下記の手順で復帰してください。 |
| 煙がでる。<br>電源コードがねじれて戻らなくなった。 | | ただちに使用を中止し、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。（10ページ参照） |

## モーターが動かなくなった時は…

定格時間を大きく超える動作をした時・カッターに材料がはさまった時・材料の分量が多すぎた時など、モーターに過剰な負担がかかった場合には、安全装置が働いてモーターが自動的に停止します。
故障ではありませんので、次の作業手順に従って再スタートしてください。

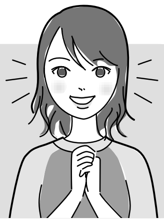
1. 電源プラグをコンセントから抜き、本体からカップホルダーをはずす。
2. カッターにはさまっている材料を取り除く。量が多い場合は減らす。
3. 10秒以上たってから、本体の底部にある赤色のリセットスイッチを指先で押す。
4. 再度カップホルダー・カップカバーをきちんとセットし、電源プラグをコンセントに差し込み、カップカバーのスイッチを押して動作させる。




## 仕様

| 品名 | フードミル | ボトル容量 | ミルカップ（大）…220ml |
|---|---|---|---|
| 形名 | TML180 | | ミルカップ（小）……75ml |
| 電源 | AC100V　50-60Hz | | お茶カップ…大さじ1（約12g） |
| 消費電力 | 240W | コード長さ | 1.4m |
| 回転数 | 25,000回／分 | 付属品 | ミルカップ（大）………1個 |
| 寸法 | 高さ255×幅100<br>×奥行き116（mm） | | ミルカップ（小）………1個<br>お茶カップ ……………1個<br>容器フタ ………………2個 |
| 重量 | 1.6kg（ミルカップ(大)使用時） | | 掃除用ブラシ …………1個 |
| 定格 | 1分30秒 | | レシピブック …………1冊 |





# アフターサービスについて

## 1.保証書について ——— 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

この取扱説明書には裏面に商品の保証書が付いています。保証書はお買い上げ販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

## 2.修理を依頼されるとき

●保証期間中は商品に保証書を添えてお買い上げ販売店にご持参ください。保証書の記載内容にそって修理いたします。
●保証期間が過ぎているときはお買い上げ販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

## 3.補修用性能部品の保有期間

当社では、この商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後6年としております。

## 4.ご使用中にふだんと変わった状態になったとき

ただちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に点検・修理をご依頼ください。お客様ご自身での分解修理は危険です。（修理には特殊な技術が必要です。）

## 5.アフターサービスについてご不明の点があるとき

お買い上げ販売店にお問い合わせください。
●ご転居により、お買い上げ販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、事前に販売店にご相談ください。
●ご贈答品などで、お買い上げ販売店のアフターサービスを受けられない場合は、下記の「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。


## テスコムお客様ご相談窓口

受付時間：平日　9時〜17時

●部品・修理についてのお問い合わせ　フリーコール 携帯・PHS OK **0120-343-122**

●商品・お取り扱い・その他のお問い合わせ　フリーコール 携帯・PHS OK **0120-106-018**

〒390-0821 長野県松本市筑摩4−1−20　TEL　0263-26-4870　FAX　0263-25-0808

株式会社 テスコム　〒141-0031　東京都品川区西五反田5−5−7

愛情点検

## 『長年ご使用のフードミルの点検を！』

●ご使用前に必ず電源コードに傷などがないか、お確かめください。

## 〈無料修理規定〉

お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき、お買い上げ販売店が無料修理いたしますので商品と本保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   ①使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷。
   ②お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
   ③火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による故障または損傷。
   ④業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   ⑤本書の提示がない場合。
   ⑥本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理を依頼されることができない場合は、「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。
●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
●当製品の保証書にご記入いただいた、お客様の個人情報は、修理・交換品の発送のみに使用し、それ以外の目的で使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

## 保　証　書

持込修理

| 品　　名 | フードミル | 形　名 | TML180 | 保証対象 | 本体 |
|---|---|---|---|---|---|
| 保証期間 | お買い上げ年月日より **1年間** | ★お買い上げ年月日 | 年　　月　　日 | | |

| ★お客様 | ご芳名　　　　様<br>ご住所(〒　　　　)<br>お電話 | ★販売店 | 住所・店名<br>電話 |
|---|---|---|---|

株式会社 テスコム
www.tescom-japan.co.jp

本社／東京都品川区西五反田5ー5ー7
工場／長野県松本市筑摩4ー1ー20